

履 歴 書			
姓 名	フリガナ	りゅうこく	たろう
	漢字	龍谷	太郎
	欧字	RYUKOKU	taro
生年月日	元号 昭和45年 (西暦 1970) 5月 1日生 満 48歳	性別	男・女
現住所	(〒520 - 2194) 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5		
	Tel: 077-599-5601	Fax: 077-599-5608	携帯電話: 090-XXXX-XXXX
	E-Mail: agr@adm.ryuKoku.ac.jp		
<p>○漢字欄は戸籍抄本どおりに、ふりがな欄はひらがなで、欧字欄はヘボン式ローマ字で、それぞれご記入ください。</p> <p>○年齢は、履歴書記入日現在における満年齢を記入してください。</p> <p>○現住所は、履歴書記入日現在における住所（住民票届出の住所）を記入してください。</p>			
学 歴 ・ 学 位			
年 月 日	事 項		
平成元 (1989) 年 3月 平成 5 (1993) 年 3月 平成 7 (1995) 年 3月 平成10 (1998) 年 3月	<学歴> XXXX県立 XXXX高等学校 卒業 XXXX大学 XXXX学部 XXXX学科 卒業 XXXX大学大学院 XXXX研究科 XXXX専攻 修士課程 修了 XXXX大学大学院 XXXX研究科 XXXX専攻 博士後期課程 単位取得満期退学		
平成 7 (1995) 年 3月 平成12 (2000) 年 3月	<学位> 修士 (農学) XXXX大学 博士 (農学) XXXX大学		
平成 5 (1993) 年 3月 平成 5 (1993) 年 3月	<資格> 中学校教諭第一種免許状 (理科) 第XXXX号 高等学校教諭第一種免許状 (理科) 第XXXX号		
<p>○高等学校卒業以上の学歴のすべてをご記入ください。</p> <p>○旧制に該当される方のみ「旧制」とご記入ください。</p> <p>○博士課程を出て未だ博士号を取得していない方は、「博士課程 (後期) 単位取得満期退学」と記入してください。</p> <p>○大学の別科、専攻科については「学歴」欄に、研究生、聴講生等は「職歴」欄に記入してください。</p> <p>○学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、教員等の資格についても「学歴」欄に記入してください。この場合、登録番号も付記してください。</p> <p>○外国における資格については正確に記入するとともに、その資格の内容について併記してください。</p> <p>○外国留学については、学生としての留学の場合は「学歴」欄に、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入してください。</p>			

職 歴	
年 月 日	事 項
平成10 (1998) 年 4月 平成15 (2003) 年 4月 平成19 (2007) 年 4月 平成20 (2008) 年 4月 平成23 (2011) 年 4月	(常勤) XXXX大学 XXXX学部 XXXX学科 講師 同上 助教授 同上 准教授 XXXX大学 XXXX学部 XXXX学科 教授 (XXXX論、XXXX学担当) (現在に至る) XXXX大学学生部長 (平成24 (2012) 年3月まで)
平成17 (2005) 年 4月 平成22 (2010) 年 4月	(非常勤) XXXX大学 XXXX学部 非常勤講師 (平成23 (2011) 年3月まで) XXXX大学 XXXX学部 非常勤講師 (XXXX論担当) (現在に至る)
平成19 (2007) 年10月	(前審査) 文部科学省 (大学設置・学校法人審議会) 教員資格審査において、XXXX大学XXXX学部XXXX学科 (XXXX論、XXXX学担当) の専任・教授として適格判定
○職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記してください。 ○在職期間が明確になるように記入してください。なお、現職については必ず「現在に至る」と明記してください。 ○自営業、主婦、無職等についても、省略せずに記入してください。 ○大学教員の職歴については、主な担当科目を()で付記してください。 ○担当科目に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記入してください。 ○過去に、文科省大学設置・学校法人審議会(旧大学設置審議会)の教員資格審査において「適格」と判定された方は、その内容も記入してください。	
学会及び社会における活動等	
年 月 日	事 項
平成 7 (1995) 年 4月 平成10 (1998) 年 4月 平成10 (1998) 年 4月 平成22 (2010) 年 4月	XXXXX学会正会員 (現在に至る) XXXXX学会正会員 (現在に至る) XXXXX学会正会員 (現在に至る) XXXXX学会 幹事 (平成24 (2012) 年3月まで)
○本人の専攻・研究分野等に関連した事項についてのみ、ご記入ください。なお、所属学会名は正確に記載してください。	
賞 罰	
年 月 日	事 項
平成18 (2006) 年 9月	XXXX研究奨励賞 (XXXX学会 / 「XXXX論」による)
上記のとおり相違ありません。	
平成30(2018) 年 4 月 1 日	
氏名 龍 谷 太 郎	
印	

教育業績・職務実績書

項目ごとに、年代順（過去→現在）に番号をつけて記入してください。

平成30(2018)年4月1日
氏名 龍谷太郎 印

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 1) 視聴覚教材を活用した授業法の実施	平成XX(XXXX)年XX月～ 平成XX(XXXX)年XX月	「XXXXX論」において、視聴覚教材（ビデオ、スライド等）を活用し……
<p>【事項例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マルチメディア機器を利用した授業方法 ○学生の授業外における学修促進のための取り組み ○講義内容のWEBでの公開 <p style="text-align: right;">など</p>		
2 作成した教科書、教材 1) 「XXXX概説」（XXX書店／pp.XX-XX）	平成XX(XXXX)年XX月	同書は、大学生向けの教科書として作成されたものである。 第XX章「XXXXXXX」を執筆
<p>【事項例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作成した教科書、翻訳、教材、講義で教科書として使用している著書、教材 <p style="text-align: right;">など</p> <p>※「研究業績書」（著書等）との重複も可。その場合は、「(再掲)」と表示してください。</p>		
3 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価 1) 平成XX年度「学生授業アンケート」	平成XX(XXXX)年XX月	学生による授業アンケートにおいて高い評価を得た（授業内容に、「大変満足」・「ほぼ満足」と回答した学生の割合が8割を上めた）
<p>【事項例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学の自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を得た事実（その理由と評価内容） ○学生による授業評価、教員同士の相互評価 ○学外の評価機関等が行った評価 ○上記以外で、学長、学部長、学内諸機関等が行った評価（客観性を持ったもの） <p style="text-align: right;">など</p>		
4 実務家教員についての特記事項 1) 株式会社XXXX XXXX部XXXX課	平成XX(XXXX)年XX月～ 平成XX(XXXX)年XX月	課長として、部下の育成・指導に携わった。
<p>企業・官公庁等での勤務歴を有する者で、その在職中に次のような事項に該当する場合のみ記載してください。</p> <p>【事項例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学から受け入れた実習生に対する指導歴（企業実習・臨地実習等） ○企業内教育、大学公開講座、社会教育講座などの講師歴 ○その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導歴 <p style="text-align: right;">など</p>		
5 その他		
<p>上記以外で、教育上の能力に関する事項があれば、幅広く記載してください。</p> <p>【事項例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学の教育改善に関する著書・論文の執筆や団体等での活動 ○教育実績に関する受賞歴 <p style="text-align: right;">など</p>		

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
1 資格、免許 1) TOEIC XXXX点 2) 中学校教諭第一種免許状（理科）	平成XX(XXXX)年XX月 平成XX(XXXX)年XX月	
2 特許等 1) XXXXXX装置	平成XX(XXXX)年XX月出願	特許第XXXXX号
3 実務家教員についての特記事項 1) 株式会社XXXX XXXX部XXXX課 2) XXXX市XXXXX委員会	平成XX(XXXX)年XX月～ 平成XX(XXXX)年XX月	課長として、主に以下のプロジェクト統括を担当。 （内容、結果等を記載） 委員会委員として参画
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>企業・官公庁等での実務経験を有する場合は、主に以下の事項を参考に記載してください。</p> <p>(1) 従事した期間 (2) 職務の内容（どのような職務であるか、どのような役割を果たしたか） (3) 成果や結果</p> <p>【事項例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業、官公庁等の研究者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・開発した新製品・製法、作物等の新品种などの概要 ・大学との共同研究により研究実績がある場合、その概要・成果・当該研究における役割 ○その他、企業・団体等関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・高度に専門的な実務に従事した場合の実績 ○情報技術者関係の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴） ○マスコミ関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・執筆した記事や作成した番組等の概要 ○医師、看護師等医療技術者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・症例研究会での発表等の活動実績 ○管理栄養士、食品衛生監視員者等、調理・栄養系技術者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・高度に専門的な実務に従事した場合の実績 <p style="text-align: right;">など</p> </div>		
4 その他		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>上記以外で、職務上の実績に関する事項があれば、幅広く記載してください。</p> </div>

記入例

研究業績書

項目ごとに、年代順（過去→現在）に番号をつけて記入してください。

平成30(2018)年4月1日
氏名 **龍谷太郎** 印

著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の 年月日	発行所,発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1. 「XXXX論研究」	単著	平成XX(XXXX)年 XX月	XXXX書店	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
2. 「XXXX概説」	共著	平成XX(XXXX)年 XX月	XXXX研究所 (XXシリーズ 第XX巻)	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 第XX章 (pp.XXX-XXX) を執筆 執筆者：龍谷太郎。○○○、△△△
3. . . (学術論文)				
1. 「XXXXXXXXXXXXに関する一 考察」(査読付き)	単著	平成XX(XXXX)年 XX月	XXXX研究 第XX巻 pp.XXX-XXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
2. 「XXXXXXXXXXXXの影響に ついて」(査読付き)	共著	平成XX(XXXX)年 XX月	XXXX学論集 第XX号 pp.XXX-XXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX △△△の探索とその機能を証明する部 分を担当 執筆者：龍谷太郎。○○○、△△△
3. . . (その他)				
1. 「XXXX辞典」	共著	平成XX(XXXX)年 XX月	XXXX書房	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 第XX章 (pp.XXX-XXX) を執筆 執筆者：龍谷太郎。○○○、△△△
2. 3. . . .				

この書類は、担当授業科目等に関する主要な著書・学術論文等（発行または発表が予定されているものを含む）についてのみご記入ください。

(1) 「著書・学術論文等の名称」欄

- ・「著書」、「学術論文」、「その他」の順に、それぞれ年月日順（過去→現在）に番号を付してご記入ください。
- ・査読付き論文については、名称の後に「(査読付き)」と記載してください。

(2) 「概要」欄

- ・著書・学術論文等の概要を、著書、学術論文等ごとに明確かつ簡潔に、それぞれ200字以内でご記入ください。
- ・共著の場合は、本人の担当部分の概要及び掲載頁（例：pp.XXX～XXX）を明記し、また、本人の氏名（下線を付すこと）を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記入してください。
- ・共著者多数の場合などで、本人の担当部分を抽出するのが困難な場合は、その理由を明記してください。（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能）

(3) その他、記入上の注意点

- ・一冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著として整理してください。
- ・学位論文については、その旨が明確になるよう記入してください。
- ・発表学会誌は、その名称の他、巻・号等まで明記してください。
- ・学会誌等において発表予定のものについては、その旨を明記し、証明書（出版証明書等）を添付してください。なお、投稿予定のものは含めないでください。

その他業績書

平成30(2018)年4月1日
氏名 龍谷太郎 印

1. 科学研究費等競争的資金の獲得状況 (過去10年分を記載してください)

競争的資金名	研究課題名	資金額	獲得年	研究期間	備考
科学研究費補助金 (基盤研究(A))	XXXXXXXXXX に関する総合的研究	10,000,000 円	XXXX (平成XX)年	XXXX (平成XX)年~ XXXX (平成XX)年	(研究代表者)
科学研究費 (基盤研究(C))	XXXXXXXXXX 研究	3,000,000 円	XXXX (平成XX)年	XXXX (平成XX)年~ XXXX (平成XX)年	(研究分担者)
NEDO 委託事業	XXXXXXXXXX の実用化に関する研究	5,000,000 円	XXXX (平成XX)年	XXXX (平成XX)年~ XXXX (平成XX)年	

科学研究費(科学研究費補助金)の場合は、「備考」欄に「研究代表者」又は「研究分担者」の区分を明記してください。

2. 特許等知的財産の出願・取得状況

知的財産の名称	知的財産の概要	出願年	取得年	備考
XXXXXXXXXX 装置	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXX (平成XX)年	XXXX (平成XX)年	特許第 XXXXXX 号
XXXXXXXX の測定方法	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXX (平成XX)年	—	特願第 XXXXXX 号

出願中や審査請求中など(権利化されていない)案件については、「取得年」欄に「—」を記入してください。
また「備考」欄には、特許番号や出願番号などを記載してください。

3. 社会連携・産官学連携等の活動実績

活動概要	活動期間	備考
XXXX 市 XXXXX 委員会に委員として参画し、専門的見地から助言を行った	XXXX (平成XX)年XX月~ XXXX (平成XX)年XX月	
(株)XXXXX との共同研究を行い、その研究成果を実用化に結びつけた。	XXXX (平成XX)年XX月~ XXXX (平成XX)年XX月	

4. その他 (審査の参考となると思われる事項や特記事項があれば記載してください)

--

教育と研究に対する抱負

平成30(2018)年4月1日

氏名 龍谷太郎

教育と研究に対する抱負

(2,000字以内で記載してください)

本学へ着任いただいた場合の、教育活動や研究活動に対する抱負を記載してください。

シラバス	
平成30(2018)年4月1日 氏名 龍谷太郎	
シラバス	
授業科目名	
講義概要	「主たる担当授業科目」の「シラバス」<案>を作成してください。
到達目標	
講義方法	
授業時間外における 予・復習等の指示	
テキスト 参考文献	
講義計画	
備考	